ひだまり

老人保健施設のぞみの園　創設２０周年を迎え

老人保健施設のぞみの園
施設長　佐藤久美

鶴岡地区で最初の介護老人保健施設「のぞみの園」は、創設者が多くの困難を乗り越えて成し得たことと肌で感じておりましたので、これまで大過なく事業の拡大と共に20周年を迎えることができ感無量です。

これも一重に、県・市御当局からのご指導と、地域の皆様のご理解とご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。そして創設以来、みつわ会を支援頂いている社員の皆様、この20年間「のぞみの園」をご利用頂いた多くのご利用者とご家族の皆様に感謝申し上げます。

創設時はのどかな田園地帯だった施設の周りも、多くの住宅と施設が建設され、一大保健・医療・福祉エリアと化しました。その中で「のぞみの園」は創設者の佐藤忠芳氏が掲げた「福祉の心と職員への愛情」を理念とし、20周年を迎えました。私もその理念を引き継ぎ、施設長に就任し3年が経過いたしましたが、地域の高齢化率が伸展する中で、各福祉サービス事業所も年々多く開設され、より良いサービス提供が求められております。

みつわ会は、働く職員が健康で幸せであって、ご利用者に質の高いサービスの提供ができると考えております。その為、ワーク・ライフ・バランスやメンタルヘルスの対応に力を入れておりますが、職場見学や実習生の皆様からは、職員が明るく、活気があると評価を頂いております。施設長として職員の皆さんを誇りと思うと同時に、今後も一緒に研鑽を積んでいければと思います。

さて、介護保険制度では、「地域包括ケアシステム」が全国で推進され、鶴岡市においても構築に取り組んでおります。みつわ会は、長年地域の皆様の多様なニーズにお応えして医療・介護・福祉を一体的に提供して参りました。正に、『介護老人保健施設』こそが地域包括ケアの拠点となり得ると考えます。

今後は、20周年を区切りとし、更に前進できます様に職員と共に努力して参ります。今後共、ご指導宜しくお願い申し上げます。

ひだまり　Vol.49

医療法人社団みつわ会
山形県鶴岡市茅原町26番23号
<事務局> TEL0235 - 25 - 8255

- 老人保健施設のぞみの園
- サテライト老健のぞみ
- サテライト老健ちわら
- グループホームひだまりの家
- のぞみの園訪問介護サービス
- 茅原クリニック
- ケアプランセンターひだまり
- 有料老人ホームサニーハウス茅原
- 有料老人ホームみつわ荘
- 有料老人ホーム共栄荘
- 有料老人ホームあじさいの家
- ライフサポートハウス千寿

発行日　平成25年9月1日
発行人　施設長　佐藤久美

Nozominosono 20th anniversary

合同 みつわ会 夏まつり 2013

のぞみの園創設20周年オープニングセレモニーとして、みつわ会の更なる発展と、そこに関わる皆様のご健康とご多幸を祈願し、理事7名による「鏡開き」が行われました。

オープニングに華を添えた女性職員有志による「花笠踊り」。

「ハウオリフラスタジオ」の皆さんによる本場のフラダンス。
時間の流れをゆったりと感じさせてくれるHula♪(フラ)をありがとうございました。

朝倉 さや さん

いつも慰問に来ていただいているボランティア団体「ナイスフェロー」の皆さん。
迫力ある歌と踊りをありがとうございました。

毎年恒例のとなりました男性職員有志による「よさこいソーラン」。
迫力ある踊りに、何度もアンコールの声が掛かりました。

茅原町内のボランティア団体「ひばりの会」の皆さん。
昔なつかしい童謡とハーモニカの演奏ありがとうございました。

日本舞踊「芙蓉流 由紀菜教室」の皆さん。
キレのある踊りを披露していただきました。
ありがとうございました。

のぞみの園20歳を記念し、手作りのバースデーケーキの炎を朝倉 さやさんと現在20歳の職員が勢いよく吹き消しました。

有料老人ホームの皆さん

「グループホームひだまりの家」の皆さん

今年も全品無料で安全な屋台メニューを提供できるよう職員一丸となり頑張りました。来年もご期待ください!!

7月27日、「みつわ会合同夏まつり2013」が開催されました。

今年は、老人保健施設のぞみの園20周年記念ということもあり、特別ゲストとして山形市出身で活躍中の歌手「朝倉 さや」さんから慰問に来ていただきました。

朝倉さんからは、本人作詞作曲のデビュー曲『東京』をはじめ、山形弁でカバーした『きよしのズンドコ節』(氷川きよし)、『あなたに逢いたくて』(松田聖子)や『花笠音頭』など民謡日本一に輝いた歌声を披露していただきました。元気で明るい笑顔とその歌声に、会場全体が魅了されていました。

茅原町内の「ひばりの会」の他、ボランティア団体の皆さんから素敵な歌や踊りを披露していただきました。皆さんありがとうございました。

また、女性職員有志の『花笠踊り』、男性職員有志の『よさこいソーラン』もあり、笑顔あふれる良い夏まつりとなりました。

Mituwakai-Hidamari

茅原町内会
子供みこし

8月3日、茅原町内会の夏祭りが行われ、茅原町子供会『子供みこし』の皆さんから来園していただきました。

例年、当施設は『子供みこし』の休憩場所となっておりましたが、今年はご利用者の皆さんに子供たちがおみこしを引く姿を見ていただきたいと思い、子供会の皆さんに施設内でおみこしを担いでいただきました。

子供たちのかわいらしく力強い「ワッショイ‼ワッショイ‼」という掛け声に、ご利用者の皆さんも自然に笑みがこぼれておりました。

また、子どもたちと少しでも触れ合っていただきたいと、ご利用者から子供たち一人ひとりにお菓子を手渡していただきました。その際には、ご利用者の方から「こっちにもお菓子あるよ、まだもらってない子おいで、おいで」と手招きしながら嬉しそうに声をかける姿も見られました。

暑い中、ご協力いただいた茅原町子供会の皆さん、本当にありがとうございました。

これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

全国介護老人保健施設大会石川in金沢

「第24回全国老人保健施設大会 石川 in 金沢」が平成25年7月24日から26日までの3日間、「うつくしき川は流れたり そのほとりに我は住みぬ ～住み慣れた地域で、その人らしく～」をテーマに、石川県立音楽堂など金沢市内7会場で開催されました。

全国から約5，000人の方が参加し、1，200題を超える演題発表が行われる中、当法人からは4人の職員が参加し、演題『NST（栄養サポートチーム）発足 ～チーム力を結集し身体状態の改善へ～』を主任管理栄養士 本間景子が発表しました。「介護老人保健施設」では珍しいNSTの発足とその取り組みに、会場からは「多職種で栄養評価をする中でどのような点が大変か？」「多職種での嚥下評価は、どのようにしているか？」など多数質問が寄せられました。

また、石川県の歴史や文化に触れながら、他施設のすばらしい取り組みも学べ、実りある大会参加となりました。

来年も質の高い演題発表を行えるよう職員全員で頑張っていきたいと思います。

演題発表の様子

演題発表を前に緊張の本間主任

金沢城を背景に記念写真